

令和8年度
一般入学試験

國語

広島県立三次看護専門学校

第二看護学科

受験番号() 氏名()

答案作成上の注意

- 1 受験番号、氏名は、解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 2 解答は解答用紙の所定の場所に記入すること。
- 3 配布した問題用紙、解答用紙は持ち出してはならない。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

共感の由来を探っていくために、動物の話から始めよう。動物の中には、相手に応じて行動を^aヨソオウ知恵を身につけているものがあり、^①その種の動物の中では「だまし合い」が行われている。

たとえば、ブタの行動観察では、食べ物があることを知っているときに近くに強い個体がいると、あえて食べ物がない方向に歩き出すことが知られている。自分より力が強い個体に発見されてしまえば横取りされてしまうので、食べ物がないところへ^bとユウドウする目的からである。だます意図にもとづいたフェイク行動と言えよう。

またカラスでは、自分が見つけた食べ物を隠しておく行為が知られているが、他の個体がいなくなってから、隠し場所に行くことが観察されている。さらに、その隠す行為をカゴに入れた別のカラスに目撃させた後、カゴのカラスを外に出す実験をした。すると、食べ物を隠したカラスは、他の個体が隠し場所に近づいても「気にしない」そぶりを見せていたのに対し、当の目撃した個体が隠し場所に近づくと攻撃をすることがわかった。カラスは、個体識別をしたうえで相手の知識を推し測って態度を変える知能をもつことが、こうした実験から明確になったのである。

生物の生存競争では、「強いものが生き残る」と、とかく筋力の強さや体格の大きさが強調されがちだが、ライバルを出し抜く知能の高さも重要になる。つまり、他個体をうまくだませる個体が生存競争により多く勝ち残り、だましのテクニクがどんどん進化するという具合である。

動物の間でだまし合いが横行すると他個体の言うこと（動物はしゃべらないので「態度で示すこと」と考えてほしい）は信じなくなるはずである。なぜなら「あつちに食べ物があるぞ」と言う話を信じて、そこには絶対に食べ物はないからである。いい話を信じて「バカを見る」だけなのだ。

では、なぜ人間は動物の一種でありながら、人の話を信じるようになったのだろうか。また、他者に共感を抱くようになったのだろうか。そのような認知の構造は、^②狩猟採集時代の生活環境に^{たまもの}応じて進化した「偶然の賜」なのである。

狩猟採集時代とは、およそ三〇〇万年前から一万年前まで、人類の祖先がおもにアフリカで経験した生活形態である。それ以前の人類の祖先のサルは、アフリカの森に生きていた。木の上を渡り歩き、食べられる木の実や^cコンチュウが見つかれば食べるという、^d1な生活をしていた。しかし、地球規模の気候変動でじよじよに^dカンレイ化が起こり、大気中の水分が減って内陸部は乾燥化し、森が縮小していった。森から追われた人類の祖先は、食べ物が得られにくい草原（サバンナ）での生活を余儀なくされた。これが、狩猟採集時代の始まりである。

サバンナでは、わずかな食べ物を求めて遠くまで歩く必要があった。そこで私たちの祖先は、進化によって体形を変化させ、直立二足歩行をするようになった。我々ホモサピエンスを含めた「広い意味でのヒト（ホモ属）」の誕生につながる。狩猟採集時代になって必要となった直立二足歩行を大きな特徴と

する、新しい動物種が生まれたのである。

前述のように狩猟採集時代は、乾燥化のため食べられる植物が減ってしまったので、少ない木の実や木の根を「管理して食べる」必要性が生じた。小さなうちに勝手に食べてしまつては、食料が十分に得られない。そこで、皆で植物の成長を管理して、もつとも大きく成長した時期に採集する「協力の知恵」をヒトは身につけていくのである。

また、サバンナに生きるさまざまな動物を狩猟するうえでも、「協力の知恵」が必要だった。ヒトの身体能力は弱く、とてもサバンナに生きる頑強な動物をひとりでは捕らえられない。そこで、集団での狩りを編み出したのである。追い立てる人々、待ち伏せしてとどめを刺す人々などの分業を行うと、ある程度の頻度で狩りに成功したにちがいない。

そして、この狩猟採集時代の協力生活を支えたのが、食べ物の「公平な分配」である。たとえば、大型動物の狩りに成功したら、食べきれないくらい（もちろん、当時は保存する知恵もまだない）の食料が手に入るので、食べ物は集団で分けて食べるのが効率的である。分け合えれば、一部のグループが狩りに失敗してもウエなくって済むというわけだ。

こうして協力集団では、周囲の人々と一緒に行動する利点が大きくなる。皆と一緒に狩りに行く、一緒に木の実取りに行くなどと、同調した行動をとっていたほうが、集団の協力がうまく行え、協力の成果としての食べ物も多く得られ、人々の生活も守られる。その結果、私たちがときおり懐かしく思い出す「ほのぼのとした助け合い集団」が確立したのである。

A、狩猟採集時代の協力集団は五〇人から一〇〇人ほどで、周囲にある食べ物の量によってまかなえる人数に応じて増減していた。進化心理学者のロビン・ダンバーの分析によると、最大でも一五〇人であったと推定されている（後の研究でダンバーは、SNS上の集団形成でも同様な人数限界が見られると指摘している）。これ以上、集団の人数が増えると、同じ所に一緒に生活できず、一部の人々が「食べ物の豊富な新天地」を求めて移住していったのだろう。

こうした協力集団は、いわば「一蓮托生の密な仲間たち」である。自分だけ食べ物のありかを知って食べてしまうのはいけないことであり、皆に知らせるギム^fがあつただろう。うまい狩りの方法を思いついたら、自分が狩りを実践しなくても、周囲の皆に伝えれば誰かが狩りに利用して食べ物をとってきてくれ、自分の食料にもなる。皆が集団のために働き、集団と運命を共にしたのである。

ヒトでは、協力集団を結成することで、周囲の人の言うことを信じたほうが集団内の協力が進むという、特殊事情が成立した。周りの人にウソを言えば集団の不利になり、自分の生存自体にもエイキョウ^gしてしまう。これが、動物のようなだまし合いから、人間らしい信じ合いへの転機だった。ヒトは、聞いた情報を疑うよりも信じてチームワークを高めるほうが有効な協力集団に二〇〇万年以上もの長い間生活していたので、情報を信じる態度が私たちに深

く根づいたのである。

その結果、私たちは「真実バイアス」を抱くようになった。真実バイアスとは、聞いた話をまずはホントと思う傾向である。二〇〇六年のボンド&デパウロ分析では、ウソとホントを半々に混ぜて判定させた実験の総計で、被験者たちは平均して五七パーセントをホントと判定していた。人間はホントをウソと疑うよりも、ウソでもホントと思うほうがヨウイ^hになっているのである。

B、歴史的な経緯がわかったところで、こんどは私たちの共感について深く考えてみよう。共感とは、他者の感情、思考、行為などを自分のこのように認知できる脳の働きである。イタリアの脳科学者ジャコモ・リゾラッティらが、「ミラーニューロン」と呼ばれる神経細胞（ニューロン）を発見し、共感の研究を加速した。^④この発見の経緯がとても興味深い。

リゾラッティらは、サルⁱの脳にデンキョクをつけ、サルがいろいろな行動をとったときに、脳の中のどの神経細胞が興奮するかを調べていた。ある日、彼らはサルに餌を与え、食事をするときに興奮する神経細胞を探し当てた。この手の作業は、サルを使った脳研究では、通常のルーティンワークであった。ところが、彼らが休憩をとり、サルのオリの前で食事をしていたところ、神経細胞の興奮をキャッチした測定器が信号を発したのである。ミラーニューロンの発見の瞬間であった。

彼らが発見したミラーニューロンは、食事行為のミラーニューロンであった。自分が食事したときに興奮する神経細胞の一部が、他者の食事を見たときに、自分の行為のように興奮したのである。その後の研究で、この神経細胞は、単にコップや皿を取り上げるという、食事の際に起きる部分行為だけでは興奮しないことも明らかになった。つまり、空のコップを取り上げるという片づけ行為では興奮せず、中身のあるコップを取り上げるという「食事を期待させる行為」でのみ興奮するのだ。

ミラーニューロンは、他者の行為が自分の行為のように感じ取れる「鏡（ミラー）」のような働き^jをすることで、他者の状態を素早く感知することに役立っている。たとえば、サルの場合、他個体が餌を食べている様子を見ることで、自分が食べる状態と同様な脳活動がほとんど自動的に起きることで、「おいしそうだな、横取りはできないか」などと、思考を働かせる手がかりになっている。この段階では、闘争を起動する働きであって、とても共感とは言えないのだが、人間のミラーニューロンでは協力を促進する働きに発展したのである。

人間において、さまざまな感情や同調行動などについて、それぞれミラーニューロンが見出されてくると、共感の発動の多くにミラーニューロンが寄与することがわかってきた。たとえば、泣いている人を見て共感するときを考えよう。

⑤ 私たちは、他者の悲しみを直接感知することはできない。悲しみが内的な気持ちだからである。ところが、自分が悲しくてナミダ^jが出ることを経験すると、他者が泣いているところを見てミラーニューロンが興奮するようになる。ミラーニューロンが興奮すると、自分が悲しんでいる状態が一部再現され、

「あの人は、自分が悲しんでいるときと同様の悲しい状態なのだ」と感知できるのである。協力集団の仲間の悲しみが実感できれば、その仲間を助ける気持が発動する。これが悲しみの共感であり、協力集団の結びつきを強める代表的な心の働きなのである。

(石川幹人『だからフェイクにだまされる——進化心理学から読み解く』による。出題の都合上、一部改変した)

(注) ボンド&デパウロ……イギリスの社会心理学者。

問一 傍線部 a i j のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部①「その種の動物の中では『だまし合い』が行われている」とあるが、その結果としてどのようなことが起きるといえるのか、三十五字程度で答えなさい(句読点なども一字に数える)。

問三 傍線部②「狩猟採集時代の生活環境に応じて進化した『偶然の賜』なのである」について、次の(ア)(イ)の問いに答えなさい。
(ア) 狩猟採集時代に人間の身体はどのように進化したと述べられているか、端的に答えなさい。
(イ) 進化の結果として人間は何を身につけたというのか、それを端的に表した言葉を本文中から抜き出して答えなさい。

問四 文脈上、空欄 1 に最もふさわしい語を、次の①～⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。
① 自由放任 ② 自由自在 ③ 自由闊達 かつた ④ 自由奔放 ⑤ 自由平等

問五 傍線部③「ほのぼのとした助け合い集団」の利点を、人間以外の動物たちと比較しながら九十五字程度で説明しなさい。

問六 空欄 A・B に当てはまる最もふさわしい語を、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。但し、同じものを繰り返し用いてはならない。

- ① さらに ② さて ③ したがって ④ あるいは ⑤ ちなみに

問七 傍線部④「この発見の経緯がとても興味深い」とはどういうことか。本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問八 傍線部⑤「私たちは、他者の悲しみを直接感知することはできない」とあるが、筆者は人間がどのようにして悲しみを感知しているというのか。それを具体的に説明している七十字程度の記述を探し、その最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問九 傍線部⑥「悲しみの共感」は、看護の現場においてどのような意味を持つと考えるか。あなた自身の経験や知識に基づいた具体例を示しながら、二百字程度であなたの考えを述べなさい（句読点なども一字と数える）。

令和8年度
一般入学試験

看護学

広島県立三次看護専門学校

第二看護学科

受験番号() 氏名()

答案作成上の注意

- 1 受験番号、氏名は、解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 2 解答は解答用紙の所定の場所に記入すること。
- 3 配布した問題用紙、解答用紙は持ち出してはならない。

問1 筋について、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. 骨格筋の筋頭が骨につく部分を起始という。
2. 外肋間筋は、呼吸にはたらく。
3. 僧帽筋は、肩を後内方に引く作用がある。
4. 平滑筋は、心臓以外の内臓や血管に分布する不随意筋である。

問2 リンパ組織について、誤っているものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 組織液の一部は、毛細リンパ管に入りリンパ液となる。
2. リンパ節は、リンパ球産生、異物の除去、抗体を産生する。
3. B細胞は、ウイルスに感染した細胞を破壊し排除する役割がある。
4. 胸管は、腰リンパ本幹と腸リンパ本幹が合流した乳び槽に始まり、左静脈角より静脈に入る。
5. 肝臓では、老化した赤血球の破壊とリンパ球の産生が行われる。

問3 呼吸器系の器官について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 咽頭扁桃、耳管扁桃、口蓋扁桃、舌扁桃をあわせてワルダイエルの咽頭輪とよぶ。
2. 左の気管支は右に比べて短く、太く、傾斜が急である。
3. 肺の上端である肺尖部は、鎖骨より2～3cm下に位置する。
4. 壁側胸膜とは、肺の表面を包む胸膜である。
5. 喉頭には喉頭蓋がある。

問4 栄養素について、() 内に適切な語句を選び、記号を記入しなさい。

1. タンパク質は、約20種類の(ア. アミノ酸 イ. オレイン酸)で構成される。
2. 脂質は、消化液中の(ア. リパーゼ イ. ペプシン)により分解される。
3. 糖質は、(ア. 脂肪 イ. 肝臓と筋肉)に蓄えられる。
4. ナトリウムは、(ア. 筋肉の収縮 イ. 酸・塩基平衡保持)に関与している。

問5 糖尿病の食事療法について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 食品交換表は、食品を1単位100kcalで表現している。
2. 1日のエネルギー摂取量の算出には、身体活動量を考慮する。
3. 食事療法の原則は糖質のみを制限する。
4. アルコールの制限は不要である。
5. 食べ方の指導では、食品の種類はできるだけ多くする。

問6 次の降圧薬のうち、血管拡張薬を1つ選び、番号を記入しなさい。

1. トリクロルメチアジド (フルイトラン®)
2. ヒドララジン (アプレゾリン®)
3. フロセミド (ラシックス®)
4. スピロノラクトン (アルダクトン®A)

問7 薬剤とその主な副作用について、A項に対し関連するものをB項から選び、記号を記入しなさい。

- | ＜A項＞ | ＜B項＞ |
|------------------------|-----------|
| 1. メトトレキサート（メソトレキセート®） | ア. 徐脈 |
| 2. ハロペリドール（セレネース®） | イ. 便秘 |
| 3. モルヒネ | ウ. 錐体外路症状 |
| 4. アスピリン | エ. 消化性潰瘍 |
| 5. ジキタリス | オ. 骨髄抑制 |

問8 乳がんの特徴について、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. 乳がんは乳腺の疾患である。
2. 好発部位は、乳房内側である。
3. わが国の乳がん患者は減少傾向である。
4. 乳がんの転移は、腋窩リンパ節や肺、骨に多い。
5. 乳がんの組織型の多くは、扁平上皮がんである。

問9 消毒・滅菌について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. ガス滅菌に用いられるエチレンオキシドガスには毒性はない。
2. 手指の消毒には、イソプロピルアルコール100%が有効である。
3. 高圧蒸気滅菌（オートクレーブ）では、2時間加熱する。
4. ポピドンヨード（イソジン®）は結核菌に有効である。
5. 次亜塩素酸ナトリウムは、毒性が強いため人体には使用しない。

問10 貧血について、（ ）内に適切な語句を記入し、文章を完成させなさい。

赤血球の破壊が亢進するために起こる貧血を（ ① ）貧血という。また、赤血球だけでなく白血球や血小板の産生が障害されている貧血を（ ② ）貧血という。
（ ③ ）貧血の治療は、ビタミンB12や葉酸を投与する。

問11 後期高齢者医療制度について、（ ）内に入る適切な語句や数字を下枠から選び、記号を記入しなさい。

1. 法的根拠は（ ① ）である。
2. この制度の被保険者は（ ② ）歳以上の者と65歳以上（ ② ）歳未満で政令に定める程度の障害のあるものである。
3. 現役並みの所得を有する高齢者は（ ③ ）割負担する。
4. 運営は（ ④ ）単位で、後期高齢者医療広域連合が行う。

a. 高齢者の医療の確保に関する法律	b. 介護保険法	c. 都道府県
d. 市町村	e. 地域包括支援センター	f. 1 g. 3 h. 70 i. 75

問 12 わが国の人口と衛生統計について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. わが国の総人口は、1990 年以後減少傾向をたどっている。
2. 2022 年の人口構成割合では、生産年齢人口は 59.4%である。
3. 年齢調整死亡率は増加傾向にある。
4. 合計特殊出生率は 2005 年に 1.26 まで下降し、その後上昇し続けている。

問 13 エリクソンの発達段階と発達課題について、正しい組み合わせを2つ選び、番号を記入しなさい。

- | | | |
|--------|-----|-------------|
| 1. 乳児期 | ——— | 勤勉性 |
| 2. 学童期 | ——— | 生殖性 |
| 3. 青年期 | ——— | アイデンティティの確立 |
| 4. 壮年期 | ——— | 基本的信頼 |
| 5. 老年期 | ——— | 統合性 |

問 14 感染管理について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. スタンダードプリコーションにおける感染源として、汗は含まれる。
2. 感染予防では、個々の免疫力を強化する必要がある。
3. 新型コロナウイルス感染症は、感染症法による分類では第二類感染症とされる。
4. スタンダードプリコーションでは、隔離することが最も重要である。
5. 百日咳の感染経路は、飛沫感染と接触感染であり、感染経路別対策が必要である。

問 15 鼻腔・口腔内吸引について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. カテーテル挿入前に少量の水を吸引する。
2. 吸引圧は、26kPa（200 mm Hg）程度とする。
3. カテーテルは、吸引圧をかけた状態で挿入する。
4. 1 回の吸引時間は、20～30 秒とする。

問 16 包帯法について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 巻軸帯は、巻き始めと巻き終わりをらせん帯とする。
2. 折転帯は、関節の屈側する部位に巻く際に用いる。
3. 包帯は、末梢から中枢に巻く。
4. 包帯のズレを防ぐため、巻き終わりは患部の上で止める。

問 17 グリセリン浣腸実施時の留意点について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 浣腸液の最適温度は、およそ 40～41℃程度である。
2. 浣腸実施時の体位は、右側臥位とする。
3. カテーテル挿入の長さは、通常、成人の場合 7～8 cm である。
4. 浣腸液の注入速度は、3 秒間で 10 ml を目安に注入する。

問 18 点滴の滴下の計算について、次の設問に答えなさい。

1500ml の点滴を朝 10 時からその日の 18 時にかけて点滴静脈内注射するよう指示を受けた。

20 滴で 1ml の輸液セットを用いた場合の 1 分間の滴下数を計算し、式と答えを記入しなさい。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 1 位を四捨五入しなさい。

問 19 身長 165 cm、体重 60 kg の男性の BMI 値（小数点以下第 1 位を四捨五入）を求めなさい。また、求めた BMI 値が低体重・普通体重・肥満のどれにあたるか判定しなさい。

問 20 血液透析療法を受ける患者の看護について、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. シヤント側の上腕で血圧測定をする。
2. シヤント音とスリルの確認を行う。
3. 治療開始後は、水分の制限は必要ないことを説明する。
4. 透析導入時には、頭痛や嘔吐の有無を観察する。

問 21 成人の一次救命処置（B L S）の胸骨圧迫について、正しいものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 意識がないことが確認できたら、ただちに開始する。
2. 胸骨の上半分に、手掌基部をのせ行う。
3. 胸が 5 cm 沈む深さで行う。
4. 60～80 回/分の速さで行う。

問 22 自動体外式除細動器（A E D）を使用する際の看護について、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. 患者の上半身に、汗や水ぬれがないことを確認する。
2. 小児用電極パッドがない場合は、未就学児に成人用を代用してもよい。
3. 心電図解析中は、家族に患者の手を握ってもらう。
4. 電気ショックが行われた後は、胸部圧迫法を中止する。

問 23 痛みを訴えている患者の看護について、誤っているものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 痛みに対して一番らくな体位をとる。
2. 痛みの原因に応じて冷罨法や温罨法を行う。
3. 痛みの強さは患者の主観的訴えで判断する。
4. 痛みの訴えをよく聞き、不安の緩和に努める。

問 24 成人期の健康の動向について、次の設問に答えなさい。

問 24－1 成人期の自殺の原因・動機について、最も多いものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 経済的問題
2. 家庭問題
3. 健康問題
4. 勤務問題

問 24－2 職業性疾患ではないものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 塵肺
2. 腰痛症
3. 有機溶剤中毒
4. 心不全

問 24－3 日本の令和 4 年（2022 年）の 30～34 歳の年齢階級別死因順位 1 位を選び、番号を記入しなさい。

1. 悪性新生物
2. 心疾患
3. 不慮の事故
4. 自殺

問 25 アトピー性皮膚炎の看護について、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. 爪は短く整え、皮膚の保清に努める。
2. 抗ウイルス薬の内服を続ける。
3. アルコールや香辛料は避ける。
4. 掻痒感がある場合は、温電法を行う。

問 26 胃がんについて、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. 胃がんの死亡率は近年増加傾向にある。
2. 早期胃がんは、無症状のことが多い。
3. 左鎖骨上窩リンパ節への転移をシュニツラー転移という。
4. 早期胃がんの治療法の 1 つに内視鏡的切除がある。

問 27 次の事例を読み、設問に答えなさい。

A さん、58 歳男性。健診で胃癌が発見され、手術目的で入院した。手術は、幽門側胃切除術（ビルロー ト I 法）が行われた。

問 27－1 A さんの術後の看護について、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. 術後イレウス予防のため、弾性ストッキングを装着する。
2. 術後出血の観察として、血圧の低下や出血量に注意する。
3. ドレーンの排液バックは挿入部より低い位置で管理する。
4. 疼痛があっても、痛みを我慢して早期離床を進める。

問 27－2 A さんの術後の経過は良好で、流動食から食事が開始された。現在の食事形態は普通食を摂取している。食後 30 分で冷汗、動悸、しびれ、腹痛、吐き気などの症状が出現した。A さんに起こっている症状は何か、正しいものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 早期ダンピング症候群
2. 晩期ダンピング症候群
3. 吻合部狭窄
4. 逆流性食道炎

問 28 高齢者の脱水について、() 内に適切な語句を記入し、文章を完成させなさい。

高齢者は、(1) に対する感受性が低下し、水分摂取量が少なくなる。また、加齢により細胞 (2) 量が減少し、体重あたりの水分量が減少する。そして、腎血流量・糸球体濾過量の低下のため、水の再吸収能の低下や、(3) の低下により、水分の喪失が大きくなる。

問 29 認知症のある高齢者への対応について、適切でないものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 便意を言葉で表現できない場合、タイミングを見計らってトイレに誘導する。
2. 清潔の援助では、拒否の有無にかかわらず、手早く短時間で援助する。
3. 口に入れてはならないものは、目に触れないところに移動する。
4. 物をとられたという妄想がある場合は、一緒に探す。

問 30 褥瘡の看護について、誤っているものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 産褥体操の指導を行う。
2. 子宮収縮不良の場合は、子宮底に温罨法を行う。
3. 母乳育児を促す。
4. 産褥 1 日目からシャワー浴を勧める。

問 31 小児の主な症状に対する看護について、正しいものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 痙攣発作時は、意識レベルを確かめるために室内を明るくする。
2. 発熱により悪寒が生じている場合は、冷罨法を行う。
3. 発疹がある場合は、必ず厳重に隔離する。
4. 下痢がある場合は、水分補給し脱水に注意する。

問 32 摂食障害について、正しいものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 女性よりも男性に多い。
2. 身体機能は障害されない。
3. 嘔吐することはない。
4. 体重コントロールに没頭する。

問 33 抗精神病薬の副作用である錐体外路症状の観察点について、正しい組み合わせを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. アカシジア——体がむずむずしてじっとしてられない
2. 急性ジストニア——運動不能で動きが鈍くなる
3. パーキンソニズム——口唇や舌などの不随意運動
4. 遅発性ジスキネジア——手指の振戦

